

日本信頼性学会

第37回秋季信頼性シンポジウムプログラム

2024年11月19日現在

対面とオンラインのハイブリッド開催（日科技連東高円寺ビル2階講堂とMicrosoft Teams）

日時：2024年12月18日（水）13:00～16:35

（敬称略）

13:00～13:05	開会挨拶（日本信頼性学会 会長 早川 有）
	<b>セッション1【システムの信頼性、安全性、理論、管理面】司会：根本、補助：岩田</b>
13:05～13:30	バラツキを厳密に扱い、品質を改善する数学 ○小池 伸（元トヨタ）
13:30～13:55	鉄道信号工事の機械化プロジェクトマネジメントとプロダクトマネジメントの取組みに関する一考察 ○志田 洋（西日本旅客鉄道株式会社）、高橋 寛（愛媛大学大学院）
13:55～14:20	安全規格に基づくハザードの定義とその解釈 ○柴垣 光男（安全学研究会）
14:20～14:45	遠隔操作システムにおけるヒューマンエラー解析と未然防止に関する研究 ODOU GUXIU、横川 慎二（電気通信大学大学院情報学専攻）
14:45～15:15	<b>休憩</b>
	<b>セッション2【試験、故障解析、部品、要素技術の信頼性、ハードウェア面】司会：高橋、補助：鎗木</b>
15:15～15:40	In含有鉛フリーはんだによるウィスカ伸長メカニズム考察 ○伊藤 貞則（イトケン事務所）
15:40～16:05	MLCCの不具合事例の共同研究 Collaborative Research on MLCC defect cases ○佐藤 博之（株式会社アドバンテスト）、故障物性研究会MLCC研究グループ
16:05～16:30	MLCC構造良品解析の共同研究 Collaborative Research on MLCC Structure Analysis of Good Products ○西野 裕暁（ダイキン工業株式会社）、故障物性研究会MLCC研究グループ
16:30～16:35	閉会挨拶（日本信頼性学会 副会長 木村 光宏）